

「道徳の時間」

充実

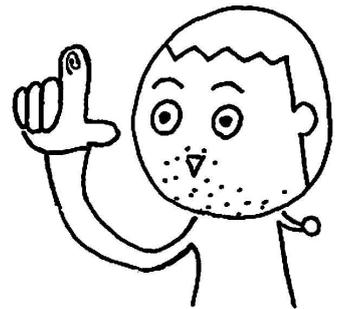
のために

の

平成30(31)年度
から道徳科がスタートし
ます。

初めて道徳に検定教
科書が導入されます。

移行期間にしっかりと
やっておくのが大切！



教科化に向けて「やってみよう！」

道徳に関するよくある疑問Q&A

道徳と特活の
違いって何？



「道徳の時間」：読み物資料などを通して自己の生き方についての**考えを深める時間**です。道徳の時間は、速効性を求める時間ではありません。将来適切な行為を主体的に選択し、行為することができるための時間です。また、自分を見つめることを通して見えな
い心を鍛える時間と言われています。

特別活動：**望ましい集団活動を通して**豊かな人間性や社会性を育成する実践活動の時間です。

こんな私が
道徳って…



教師は、児童生徒と共に考え、悩み、感動を共有していくという姿勢で指導にあたることが大切です。子どもと共によりよい人生を求め努力する姿勢を忘れずにいたいものです。

道徳科における問題解決的な
学習って何のこと？



ねらいとする道徳的諸価値についての問題を見つけ、調べたり、他者の考え方や感じ方を確かめたりと物事を多面的・多角的に考えながら課題解決に向けて話し合うことです。

*道徳科とは「特別の教科 道徳」です。

何からやればいいのか？



授業づくりの手順（P. 4）を参考に、授業をしてみよう！

展開が難しいな。
子どもたちの声を
たくさん聞きたいなあ。



単語だけの発言には、突っ込んで詳しく聞き出そう！

中心発問（P. 4参照）にたっぷり時間をかけ、じっくりと児童生徒に考えさせよう！

各発達段階における道徳教育の目標とは？

高等学校

人間としての在り方
生き方への自覚を一層深める

・社会の一員としての自己の生き方を探求するなど人間としての在り方生き方についての自覚を一層深める指導を充実することが大切です。

中学校

人間としての生き方の
自覚を促す

・思春期の特徴を考慮し、社会とのかかわりを踏まえ、人間としての生き方を見つめさせる指導を充実することが大切です。

小学校

自己の生き方について
の考えを深める

・生きる上で基盤となる道徳的価値の形成を図る指導を徹底するとともに、自己の生き方についての指導を充実することが大切です。

幼稚園

規範意識の芽生えを培う

・各領域を通して総合的な指導を行い、規範意識の芽生えを培うことが大切です。

教科化に向けて

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
小学校	中教審審議 答申 学校教育法施行規則改正 ・学習指導要領改訂	「特別の教科 道徳編」発行 小・中学校学習指導要領解説	移行期間 新学習指導要領の総則、「特別の教科 道徳」の趣旨・内容を踏まえた取組が可能		道徳科開始 教科書使用開始	
中学校			移行期間 新学習指導要領の総則、「特別の教科 道徳」の趣旨・内容を踏まえた取組が可能		道徳科開始 教科書使用開始	

☆ 全体計画と年間指導計画の確認!

全体計画

学校の教育目標や道徳教育推進の基本方針，重点目標，各学年の指導の重点，各教科等との関連が位置付けられた全体計画を確認しましょう。

全体計画別業

各教科等における道徳教育にかかわる教科等の横断的・総合的な計画であり，指導の内容および時期を整理し，道徳教育に関わる体験活動や実践活動の時期や家庭や地域等との連携の活動が一覧できるものです。

年間指導計画

主題名やねらい，資料だけではなく，展開の概要や内容項目を確認しましょう。



☆ 小（中）学校学習指導要領解説「特別の教科 道徳編」の確認!

道徳教育推進教師の役割

道徳教育推進教師は，道徳教育の推進を中心となって担う教師です。

各学校では，道徳教育の推進を中心となって担う教師，いわゆる道徳教育推進教師を位置付けています。役割としては，

- ・道徳教育の指導計画の作成に関すること
- ・全教育活動における道徳教育の推進，充実に関すること
- ・道徳の時間の充実と指導体制に関すること
- ・道徳用教材の整備・充実・活用に関すること
- ・道徳教育の情報提供や情報交換に関すること
- ・授業の公開など家庭や地域社会との連携に関すること
- ・道徳教育の研修の充実に関すること
- ・道徳教育における評価に関すること

などがあります。
(小（中）学校学習指導要領解説道徳編より)

道徳的価値とは

道徳的価値とは，思いやりの心，生命を大切に作る心，くじけずにがんばる心など人間らしいよさの基本のことです。これらは全て道徳的価値です。それは，人間らしさを表す最も特徴的なものでありその道徳的価値を学習するのが道徳教育です。

「道徳科」になったら何が変わる?

1 目標の改善

改訂後	改訂前
<p>第1章総則の第1の2に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己(人間としての)の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。</p>	<p>道徳教育の目標は、第1章総則の第1の2に示すところにより、学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養うこととする。</p> <p>道徳の時間においては、以上の道徳教育の目標に基づき、各教科、〈外国語活動〉総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充、深化、統合し、道徳的価値〈の自覚〉及び自己(それに基づいた人間としての)の生き方についての考えを深め、道徳的実践力を育成するものとする。</p>

* () 内は、中学校付加、〈 〉内は、小学校付加

2 内容の改善

- いじめの問題への対応の充実や発達段階をより一層踏まえた体系的なものに改善しました。また、「個性の伸長」「相互理解、寛容」「公正、公平、社会正義」「国際理解、国際親善」「よりよく生きる喜び」の内容項目を小学校に追加しました。

* 赤字表記が、小学校に追加されました。

第1学年・第2学年⑨	第3学年・第4学年⑩	第5学年・第6学年⑪	中学1年・2年・3年⑫
A 主として自分自身に関する事			
(1) 善悪の判断、自律、自由と責任 (2) 正直、誠実 (3) 節度、節制 (4) 個性の伸長 (5) 希望と勇気、努力と強い意志	(6) 真理の探究	(1) 自主、自律、自由と責任 (2) 節度、節制 (3) 向上心、個性の尊重 (4) 希望と勇気、克己と強い意志 (5) 真理の探究、創造	
B 主として人との関わりに関する事			
(6) 親切、思いやり (7) 感謝 (8) 礼儀 (9) 友情、信頼 (10) 相互理解、寛容	(7) (8) (9) (10) (11)	(6) 思いやり、感謝 (7) 礼儀 (8) 友情、信頼 (9) 相互理解、寛容	
C 主として集団や社会との関わりに関する事			
(11) 規則の尊重 (12) 公正、公平、社会正義 (13) 勤労、公共の精神 (14) 家族愛、家庭生活の充実 (15) よりよい学校生活、集団生活の充実 (16) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 (17) 国際理解、国際親善	(12) (13) (14) (15) (16) (17) (18)	(10) 遵法精神、公德心 (11) 公正、公平、社会正義 (12) 社会参画、公共の精神 (13) 勤労 (14) 家族愛、家庭生活の充実 (15) よりよい学校生活、集団生活の充実 (16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 (17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 (18) 国際理解、国際貢献	
D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事			
(19) 生命の尊さ	(20) 自然愛護	(21) 感動、畏敬の念	(22) よりよく生きる喜び

3 多様で効果的な指導方法の充実

- 問題解決的な学習や体験的な学習などを取り入れ、指導方法を工夫します。

4 評価

- 数値評価ではなく、子どもの道徳性に係る成長の様子を把握します。

5 教科書の導入

- 検定教科書が導入されます。

授業の構想にあたり、道徳的価値について理解することが大切です

子どもが主体的な判断に基づいて道徳的実践を行うためには、道徳的価値の意義や大切さの理解が必要となります。

- ① 価値理解：人間としてよりよく生きる上で大切な内容項目を理解させること
- ② 人間理解：道徳的価値は大切であってもなかなか実現することができない人間の弱さなどを理解させること
- ③ 他者理解：道徳的価値を実現したり、実現できなかったりする場合の感じ方、考え方は一つではない、多様であるということ为前提として理解させること
- ④ 道徳的価値を理解する学習：価値理解と同時に人間理解や他者理解を深めていくように展開すること



道徳の授業づくりの手順

《指導案作成までの流れ》

1 ねらいを検討し、指導の要点を明確にする。

学習指導要領解説道徳編で、内容項目について確認しましょう。

2 資料分析を行う。

道徳的価値や関連する道徳的価値を整理しましょう。また、登場人物の心が動く資料の中心となる場面などを把握しましょう。

3 学習指導過程を構想する。

本時のねらい（内容項目）を踏まえた発問を考えましょう。

価値の押し付けにしないためにも、中心発問や補助発問は大切です！

4 評価する。

本時のねらいとのかかわりにおいて子どもを評価しましょう。

*子どもの様子から、自分の授業を評価しましょう。

資料の選択のポイント

- ◇ ねらいを達成するために相応しい資料
- ◇ 時間内で取り扱える資料
- ◇ 子どもの発達段階や興味・関心に応じた資料
- ◇ 子どもの体験が生きる資料
- ◇ 読み物や視聴覚教材などの特質を生かした資料

資料の吟味は、学年の教師など複数で行うと、多様な考え方や意見を交流することができます。

資料の分析のポイント

- ① 資料の場面の展開に即して、心情の変化などを捉える方法
資料の主な場面・主人公の言動・主人公の心の動きから、価値内容を押さえ、子どもに気付かせたいこと・効果的な発問などを考えます。
- ② 資料に対する子どもの受け止めや捉えを中心にして分析する方法
(一枚絵や写真など、子どもが内容を自由に受け止め、考えることができるもの)
子どもの感じ方・考え方を予想し、資料の核となる部分や、予想される発問を考える。

道徳の授業の発問とは・・・

(次ページからの指導案に明記)

発問は、子どもの心を動かし、多様な考えを引き出すために重要です。特に、子どものこだわりや問題意識が生かされる発問、発言に自由度がある発問、考える必然性や切実感があり、心が揺さぶられる発問などを考えることが大切です。

基本発問

ねらいを達成する上で基本となる発問

- ・資料の流れを学級全体で共有し、子どもの体験に戻して考えさせる発問
- ・ねらいに対して最も骨格的な部分での発問
- ・主人公のものの見方や考え方の中心部分での発問

中心発問

基本発問の中で、ねらいを達成するのに最も重要な発問

「中心発問」が大事って聞いたことがある



- ・ねらいにかかわって、子どもの考え方・感じ方が多様に引き出せる発問
- ・ねらいにかかわって、主人公の考え方に至った動機や原因を共感的に問う発問
- ・ねらいとする価値に対して、自分自身がどのように実践してきたか、どのように考えてきたか振り返らせる発問

補助発問

基本発問や中心発問を補い、関連付ける発問

- ・基本発問で、子どもが理解しやすいように、かみ砕いたり、言い換えたりする発問

評価方法について

- ・観察や会話による方法
- ・ワークシートやノートなどの記述による方法
- ・質問紙などによる方法
- など

記録したものは、ポートフォリオを作成し、まとめておくことで子どもの変容が見られます。

次の観点での授業評価を

- ◇ 道徳的価値の理解を基に自己を見つめられるよう適切に構成されていたか。
- ◇ 指導の手立ては適切であったか。
- ◇ 発問は、指導の意図に基づいて的確になされていたか。
- ◇ 発問に対して、児童生徒が多面的・多角的に考えていたか。
- ◇ 子どもの発言を傾聴して受け止めるとともに、発言の背景を受け止めたり、学級全体に波及させたりしていたか。
- ◇ 特に配慮を要する子どもに適切に対応していたか。

指導案例(小学校中学年)

【小学校3学年：4－（3）家族愛】

1. 主題名

「母の愛」

2. 本時のねらい

父母を敬い、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくろうとする実践意欲を高める。

3. 資料名 「ブラッドレーのせいきゅう書」(わたしたちの道徳 小学校3. 4年)

3年生の4－（3）：

父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくる。

《 詳細につきましては、小学校学習指導要領解説道徳編 P. 52参照 》

学習過程	○ 学 習 活 動 ・ 予想される児童の反応	・ 教師のかかわり	◆ 指導上の留意点 ◇ 評 価
導入	○ 家での自分の仕事やお手伝いについて振り返る。 ・ 食器運びを手伝っている。 ・ 布団敷きをやっている。	・ 教師のかかわり	◆ 家での自分の仕事やお手伝いについて思い出させ、ねらいとする価値について気付かせる。
展開	お金をもらうことができたとき、ブラッドレーはどのような気持ちになりましたか。 ・ うれしい。 ・ お手伝いをしてよかった。	・ 教師のかかわり	◆ 机間指導をして、書けない子には本文の言葉に注目させる。
	お母さんは、どのような思いで家事をしていますか。 ・ 家族みんなのために。	・ ブラッドレーの気持ちを発表させる。 ・ 母親の気持ちを発表させる。	
	ブラッドレーは、どのような考えで家の手伝いをしていましたか。 ・ 自分の仕事ではないけれど仕方がないな。	・ 教師のかかわり	◆ 展開は、子どもが、ねらいの根底にある道徳的価値についての自覚を深める段階です。
	お母さんがブラッドレーに0ドルの請求書を渡したのは、どのような思いからですか。 ・ ブラッドレーのためにやっていることは、お金の為ではない。 ・ 家族はみんなで助け合うことが大切であることを分かって欲しい。	・ ワークシートに自分の考えを書かせ、発表させる。	
二人の気持ちを比べて、自分はどう思いますか。 ・ ブラッドレーは自分のことしか考えていなかったけれど、お母さんは家族のことを考えて働いてくれている。	・ 教師のかかわり	◇ ブラッドレーと母親の思いの対比を通して、家族で協力し合うことについて考えているか。	
家族のことを考えてしていることはどのようなことがありますか。また、どのようなことを思っていますか。 ・ 玄関の整頓 ・ 家族が気持ちよく靴がはけるように。	・ 教師のかかわり	◆ 終末は、ねらいの根底にある道徳的価値に対する思いや考えをまとめたり、道徳的価値を実現することのよさや難しさなどを確認したりして、今後の発展につなぐ段階です。	
終末	○ 家の人からの手紙を読んで、もう一度、家での仕事やお手伝いについて考える。 ○ 教師の説話を聞く。	・ わたしたちの道徳の書き込み欄やワークシートに、自分の考えを書かせ、発表させる。	◇ 父母を敬い、家族みんなで協力し合って楽しい家庭を作ろうとする気持ちを高めることができたか。

★ 書く活動は、児童生徒が自ら考えを深めたり、整理したりする機会として、重要な役割をもつとともに、学習の個別化を図り、児童生徒の成長の記録として活用できます。書く目的（ねらいから外れない）や書かせる量をしっかり吟味し、発達の段階に応じて書かせることが大切です。

ワークシートは
どれくらい
書かせる？



指導案例(中学校)

【中学校1学年：4－（2）公德心】

1. 主題名

「気持ちのよい社会」

中学校の4－（2）：

公德心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める。

《 詳細につきましては、中学校学習指導要領解説道徳編 P. 55参照 》

2. 本時のねらい

社会連帯という意識をもち、皆が互いへの配慮と思いやりをもち、気持ちのよい社会をつくろうとする実践意欲を養う。

3. 資料名

『バスと赤ちゃん』（中学生の道徳1「自分を見つめる」 廣済堂 あかつき）

学習過程	○ 学習活動 ・ 予想される生徒の反応	・ 教師のかかわり	◆ 指導上の留意点 ◇ 評価
導入	○ 赤ちゃんのイメージを出し合う。 ○ 資料を読む。 バスの中で何が起こりましたか。 ・ 人の熱気と暖房とで赤ちゃんが泣き始めた。 ・ お母さんが降りようとした。	・ 簡単に資料への方向付けを行う。	◆ 導入は、本時の主題にかかわる問題意識をもたせる導入、資料の内容に興味や関心をもたせる導入、学習への雰囲気づくりを大切に導入などが考えられます。 ◆ 運転手の行動だけでなく母親の行動にも気付かせる。
展開	「待ってください。降ります。」と言ったお母さんは、どうして降りようと思ったのでしょうか。 ・ 赤ちゃんが泣き止みそうにないから。 ・ 文句を言われたらいやだから。 ・ 周りの乗客に申し訳ないから。 「気の毒そうに小さな声で」言ったのはどうしてだろう。	・ 乗客や運転手を気遣うお母さんの気持ちに共感させる。	◆ 単に感動するだけにならないよう、乗客一人ひとりの心情に迫る。誰しもが、親子に対して温かい心をもっていたわけではないことを取り上げ、場面の変化と感情の変化に気付かせることが大切です。
	「目的地はここですか。」と聞いた運転手は、どんなことを考えながら聞いたのでしょうか。 ・ 降りるところはここではないはず。 ・ 本当に降りたいのだろうか。 一人の拍手につられて乗客全員がした拍手には、どんな思いが込められていたのでしょうか。 ・ 大丈夫だよ。 ・ お互い様だよ。 ・ 赤ちゃんは泣くのが仕事だよ。	・ 母親や赤ちゃんのことを考える運転手の思いやりを気付かせる。 ◆ 板書を工夫する。	
	16年たった今でも筆者は目頭が熱くなり、ジーンとするのはどうしてだろう。 ・ 運転手さんの心遣い ・ バスの中の心地いい雰囲気 ・ みんながお互いを思いやる温かい空気	・ 16年たった今でも筆者が胸を熱くする車内の光景にある「価値」を考えることでねらいとする道徳的価値について考えを深めさせる。 ・ 相手を替えながらペアで行う。	
終末	○ 今日の学習で大切だと思ったことを書きましよう。 ○ 教師の説話を聞く。	・ ワークシートに感じたことを書かせ、発表させる。 ・ 教師は、内容項目にあった説話を行う。	◇ よりよい社会の実現のためには、他者への配慮や思いやりが必要であることに気付くことができたか。



指導案
ありませんか？

この指導資料に掲載した指導案の他に、函館市教育委員会教育指導課Webページにて指導案を掲載しております。（「函館市」、「学校教育指導資料」のキーワードで検索してください。）

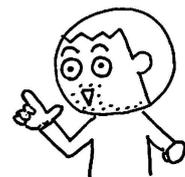
(参考)作成委員によるおすすめ資料

小学校	低学年	《かぼちゃのつる》 ・動作化など展開の工夫がしやすく、興味を高めながら基本的な生活習慣について考えることができます。(文溪堂「1ねんせいのどうとく」, 東京書籍「みんななかよく どうとく」) 《きつねとぶどう》 ・主人公の子ぎつねの心情をとらえやすく、母ぎつねに対する感謝の気持ちを考えることができます。(文溪堂「2年生 道徳」)
	中学年	《うれしく思えた日から》 ・友達の何気ない一言が、自分の長所を伸ばすきっかけとなり、自己肯定感を育むことができます。(文部科学省「わたしたちのどうとく」3・4年) 《ないた赤鬼》 ・友情について考える教材です。発問の仕方により、児童生徒の本音が引き出せます。自分の考えをもち、判断する力を育みます。(文溪堂「3年生どうとく」)
	高学年	《手品師》 ・人に対して誠実に接しようなど、“真心”の大切さに気付かせることができます。(東京書籍「みんななかよく道徳」6年) 《知らない間の出来事》 ・DSなどの通信機器によるトラブルが起こった時、未然に防ぎたい時など、資料を読んで考えることができます。(文部科学省「わたしたちの道徳」5・6年)
中学校	《中学生の夢》 ・同世代の身近な資料であり、共感的に読むことができます。(教育出版「心をつないで」) 《言葉の向こうに》 ・情報教育とも関連した指導を行うことができます。(文部科学省「中学校読み物資料集」)	

心に響く「道徳の時間」にするための5つのポイント!

Point1 共に考え、共に語り合う姿勢をとる

教師が、一方的に考え方を押しつけたり、単なる生活経験の話をするのではなく、道徳的価値を窓口に生き方について考え合う時間となるように工夫することが大切です。



Point2 共感的な態度で

「あなたはそう考えたんだね。」と児童生徒の発言は一旦受け止めます。児童生徒が本当に言いたいことは何かを考え、言葉の根っこにある心の声に耳を傾ける姿が大切です。「道徳の時間」における教師のそのような姿が、学級の支持的風土を醸成させ、また、支持的風土が醸成された学級では、「道徳の時間」の一層の充実が期待できます。

Point3 児童生徒の心情の「なぜなら」を聞く

例えば、「うれしい」という言葉の中の、何がうれしいかは、児童生徒それぞれ異なるはずですから、うれしいのは「どうして?」と聞くことが大切です。

Point4 道徳の時間の授業経験を積む

道徳の授業を公開し、参観した教師から助言を受けたり、チーム・ティーチングの協力者などから評価を得たりする機会を得ることが大切です。

Point5 道徳の時間を開こう

授業で考えさせた内容や書かせた感想を、学級通信や学校通信等で、保護者や地域、学校の教職員で共有することで、相互理解に役立ちます。「道徳の時間」に関する話題が広まり、授業計画を立てるときにも気軽に話し合える雰囲気醸成されます。

【平成27年度版 学校教育指導資料作成委員】

- ★ 岡野 伸二 (函館市立深堀中学校 校長)
- ★ 鳴海 裕 (函館市立中央小学校 校長)
- ★ 奥平 真紀 (函館市立中の沢小学校 教諭)
- ★ 高野 克 (函館市立凌雲中学校 教諭)
- ★ 中谷 文武 (函館市立高丘小学校 教諭)
- ★ 中山 央 (函館市立潮見中学校 教諭)
- ★ 林 修司 (函館市立的場中学校 教諭)
- ★ 前田 明美 (函館市立北日吉小学校 教諭)

《参考文献》

- ・小学校学習指導要領解説 道徳編
- ・小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編
- ・中学校学習指導要領解説 道徳編
- ・中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編
- ・わたしたちの道徳 小学校3・4年
- ・私たちの道徳 中学校
- ・初等教育資料 平成27年7月号 (秋田公立美術大学教授 毛内 嘉威)
- ・平成19年版学校教育指導資料 (函館市教育委員会)
- ・道徳教育の進め方 京都市ハンドブック (平成25年 3月 京都府教育委員会)